

錦織地域づくり計画 25

☆誰もが住みやすく 安心して安全な

思いやりのある 地域をめざして☆



(機織沼公園)

平成26年3月

錦織地域振興会・錦織地域づくり計画策定委員会

目 次

◆ はじめに	1
(1) なぜ、今「錦織地域づくり計画」が必要なのでしょうか？	
(2) 計画の位置づけ	
(3) 計画の構成と期間	
(4) 策定体制	
1 私達の地域の現況と特徴・課題	2
(1) 地域の概要	
(2) 地域のあゆみ	
(3) 住民アンケートにみる地域の長所と課題	
2 地域の将来像と地域づくりの目標	6
3 地域づくり行動計画	7
事業スケジュール（事業名・事業内容・目標・実施主体）	
(1) 地域づくりを支える土台づくり	
(2) 活気のある地域づくり	
(3) 思いやりのある地域づくり	
4 実現に向けて	9
(1) 地域づくりの推進体制	
(2) 協働と役割分担に対する基本的な考え方	
5 参考資料	11
(1) 地域づくり計画策定経過	
(2) 策定委員会メンバー	
(3) 住民アンケート用紙	

はじめに

(1) なぜ、今「錦織地域づくり計画」が必要なのでしょうか？

誰もが、いつまでもこの地域で安心して、楽しく暮らしたい…そのような想いを実現するために、私たちに何ができるでしょうか？何をすればよいのでしょうか？

錦織地域では、平成17年3月30日に地域の振興発展を目指し、錦織地域振興会を発足させ活動を行ってきました。

活動の一環として、平成22年度に登米市協働のまちづくり地域交付金事業の助成を受けて、錦織協働のまちづくりの指針「地域活性化事業の手引き」ステップ・バイ・ステップ計画を作成しました。

これまで、錦織地域振興会では、この指針に基づき各種の活動を実施してきました。しかし、指針作成時から相当の時間の経過を経ていること、さらに、錦織バイパス整備事業の進展や総合運動場災害復旧工事着手、消防東出張所の移転など錦織地域の現状が過去に例を見ないほど大きく変化しています。

地域をつくるのは、その地域に住んでいる人々です。地域を良くしていくためには、わかりやすい目標を持つこと、あるいは同じ目的や同じ方向に向かって進むことがとても大切です。そのようなことから、新たに錦織地域づくり計画を策定することになりました。

(2) 計画の位置づけ

錦織地域づくり計画は、法制度や条例により位置づけられた計画ではありませんが、錦織地域づくり計画策定委員会が主体となって、住民皆様のアンケートによるご協力やご提言をいただき、それを基に策定したものであり、平成22年度に策定した、錦織協働のまちづくりの指針「地域活性化事業の手引き」ステップ・バイ・ステップ計画を受け継ぎ、今後の、錦織の地域づくりを推進していくための計画です。

(3) 計画の構成と期間

錦織地域づくり計画は、地域の将来像と地域づくりの目標、行動計画、地域づくり計画の進め方で構成します。

計画期間は、5年間とし、概ね5年ごとに見直しを行うとともに、当面、5年間に実施する地域づくり事業については、アクションプログラムとして位置づけます。

(4) 策定体制

錦織地域づくり計画は、「錦織地域づくり計画策定委員会」が中心となって策定しました。

1 私達の地域の現況と特徴・課題

(1) 地域の概要

錦織地域は、岩手県と宮城県の県境で、悠久に流れる北上川を西に、東は北上山脈中の高城山連峰を境とし米川に接した山村です。

平成25年3月現在の人口は、1,710人、世帯数は544世帯となっています。人口は、平成18年と比較し257人減少(13%)しています。産業は、農業が基幹産業ですが就労人口が減少するとともに、就労者の高齢化が進み担い手が少ない状況となっています。しかし、肥沃な畑地からは、良質な「ニンニク」「ごぼう」「ながいも」が生産されており、県内外に広く知られています。

商業は、かつて、錦織の街並みを形成していた商店が、年々減少し、現在では、「こしちや」「衣料品のごとう」「あずま食堂」「佐藤理容」「及川理容」「アン美容室」「マリー美容室」「セブンイレブン錦織店」[JAみやぎ登米東和支店店舗]「居酒屋ささや」などとなっています。

交通条件は、国道346号線、県道東和薄衣線が主要道路となっています。公共交通の登米市民バスは、国道346号線を走っています。

地域の特徴として、「嵯峨立神楽」「嵯峨立甚句」など古くから伝承され活動が継続されています。また、総合運動場や錦織公民館を核とした社会教育活動が盛んな地域です。

◆ 人口と世帯数の推移

「人口の推移」各年3月末

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	25-18
1区	490	482	467	465	450	452	450	437	-53
2区	307	296	289	272	261	270	267	256	-51
3区	353	347	345	350	332	324	314	301	-52
4区	264	259	256	255	249	251	264	247	-17
5区	324	313	304	298	293	289	281	278	-46
6区	229	221	219	211	209	204	195	191	-38
計	1,967	1,918	1,880	1,851	1,794	1,790	1,771	1,710	-257

「世帯数の推移」各年3月末

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	25-18
1区	144	146	140	145	146	143	146	144	0
2区	103	104	106	99	98	100	97	95	-8
3区	89	93	93	94	92	89	88	85	-4
4区	67	68	68	73	73	73	90	73	6
5区	94	93	90	91	91	91	91	85	-9
6区	69	67	67	65	64	63	62	62	-7
計	566	571	564	567	564	559	574	544	-22

「人口構成」平成25年3月現在

単位：人

		0~19歳	20~39歳	40~59歳	60~79歳	80歳以上	計
1区	男	33	51	58	54	24	220
	女	34	30	63	49	41	217
	計	67	81	121	103	65	437
2区	男	16	29	37	34	10	126
	女	17	17	32	39	25	130
	計	33	46	69	73	35	256
3区	男	15	37	39	53	8	152
	女	21	25	36	46	21	149
	計	36	62	75	99	29	301
4区	男	18	27	37	34	6	122
	女	18	19	28	35	25	125
	計	36	46	65	69	31	247
5区	男	12	24	34	49	19	138
	女	16	20	34	44	26	140
	計	28	44	68	93	45	278
6区	男	10	17	25	27	12	91
	女	14	15	20	30	21	100
	計	24	32	45	57	33	191
合計	男	104	185	230	251	79	849
	女	120	126	213	243	159	861
	計	224	311	443	494	238	1,710



(昔の様子)



(今の様子)

(2) 地域のあゆみ

縄文中期	丸森山遺跡などから、この地で縄文時代の生活の跡がうかがえる。
平安時代	葛西氏が錦織をおさめる。
室町時代	西郡新左衛門が湖城に住む。
安土・桃山時代	葛西氏が滅んで、約400年にわたる葛西時代が終わる。
1644	大内氏が西郡村をおさめる。
安永年間	安永の風土記がつくられ、この頃の人口は、西郡村が732名、嵯峨立村が743名と記されている。
1873	西郡、嵯峨立に小学校が開設される。
1880	村松亀一郎氏が自由民権運動に参加する。
1889	西郡村と嵯峨立村が合併して錦織村となる。
1895	錦桜橋（船橋）ができる。
1918	錦織に電灯がつく。
1947	錦織中学校が開設される。
1956	米川村と錦織村が合併して日高村となる。 錦桜橋が完成する。
1957	日高村と米谷町が合併して東和町となる。
1960	リンゴの団地栽培が始まる。
1976	東和中学校が開校される。
1978	宮城県沖地震で錦桜橋被害をうける。
2001	第56回みやぎ国体開催総合運動場（7-フェリ-競技）。
2005	錦織地域振興会発足する。
2005	登米市誕生する。
2008	嵯峨立小学校と錦織小学校が統合し錦織小学校となる。
2011	東日本大震災発生し、総合運動場甚大な被害をうける。

(3) 住民アンケートにみる錦織地域の長所と課題

◆ 長所

具体的な意見で特に多かったもの

- ・ 挨拶がとても良い
- ・ 世代間を超えて話し合える
- ・ 人情や共助の精神が厚い
- ・ 歴史に裏打ちされた伝統文化（嵯峨立神楽・嵯峨立甚句・西郡太鼓など）
- ・ 北上川の恩恵を受けた肥沃な畑地から生産される牛蒡、にんにく、長芋
- ・ 社会教育施設や社会体育施設が充実している（東和総合運動場・錦織公民館）
- ・ 自然環境が良い



◆ 課題

具体的な意見で特に多かったもの

- ・ 子供が安心して遊べる空間がない
- ・ 素晴らしい体育施設がありながら合宿所がない
- ・ 錦織市街地の国道が狭隘なうえに歩道が狭く平坦でないため危険である
- ・ 東和薄衣線の崖付近の工事の進捗が遅いし、万一の唯一の迂回路（市道）も最低限の整備すらされていない
- ・ 錦織小学校の児童数が減少している

2 地域の将来像と地域づくりの目標

将来像

誰もが住みやすく 安心して安全な

思いやりのある地域

目標の1

人づくりを目指す地域づくり

目標の2

活気のある地域づくり

目標の3

思いやりのある地域づくり

キーワード

- ・みんなで知恵や・力を出し合おう
- ・地域の宝である子どもたちを地域ぐるみで育てよう

キーワード

- ・一人ひとりが個性を發揮し、役割、誇りを持ち続けよう
- ・地域の資源を活かそう

キーワード

- ・コミュニケーションの輪を広げよう
- ・支えあい、助け合いを深めよう

3 地域づくり行動計画

(1) 人づくりを目指す地域づくり

事業スケジュール	事業名	事業内容	目 標	実施主体
1年～2年以内に着手	錦織お宝発掘事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地位の名所・史跡・昔話などの現地見学会を実施する。 ・対象は、小学生と住民 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の担い手の皆さんに地域のよさを理解していただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・錦織地域振興会 ・錦織公民館 ・錦織小学校 三者が連携、協力して実施する。
	子供ステーション事業	<ul style="list-style-type: none"> ・錦織公民館のスペースを活用して、子供たちが自由に遊べる場をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状は、スポーツにかかわる児童、生徒以外はほとんど来館者がいない。子供たちが自由に来館し、自由に遊べる環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・錦織振興会 ・錦織公民館
	地域づくり懇話会設置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・20代から70代までの方々で、錦織地域づくり計画の進捗状況に対する評価や提言をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり計画の計画管理と時点課題を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・錦織地域振興会
	地域名人録づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の特技を持っている方を登録し、各種活動の講師等としてご協力をいただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の人材発掘の一環事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・錦織地域振興会 ・錦織公民館

3年～5年以内に着手	子供公園整備事業	・子供たちが安全に遊べる公園の整備を実現するために、市に提案要望活動を行う。	・アンケートで要望の多かった事項なので、優先度の高い事業として取り組む。	・錦織地域振興会
------------	----------	----------------------------------------	--------------------------------------	----------

(2) 活気のある地域づくり

事業スケジュール	事業名	事業内容	目標	実施主体
1年～2年以内に着手	地域の総点検事業	・危険箇所、防犯灯の設置状況などを点検する。	・安全な環境を維持する。	・錦織地域振興会 ・錦織小学校 ・錦織保育園
	グリーンツーリズム推進事業	・農業体験学習受入れの推進	・都市との交流や生徒の第2の故郷づくり	・地域の農家
	 			
	青空市の開催事業	・定期的に地場製品の販売 ・イベント時の地場製品の販売	・地場製品のPRとコミュニティ・ビジネスの推進	・グループを育成して実施する。
3年～5年以内に着手	要望活動事業 ・道路・防犯灯などアンケートに寄せられた事項を積極的に県や市に要望する。		・事業の促進と実現	・錦織地域振興会 ・関係する団体

(3) 思いやりのある地域づくり

事業スケジュール	事業名	事業内容	目標	実施主体
1年～2年以内に着手	防災関連施設見学会	・ 消防防災センター見学 ・ 消防東出張所見学	・ 防災に対する意識高揚を図る。	・ 錦織地域振興会
	防災力アップ事業	・ 防災関連の講習会や講演会の開催	・ 防災意識の向上	・ 錦織地域振興会 ・ 錦織公民館
	錦織タイムズの発行	・ 毎月地域内のニュースを全戸にお知らせする。 ・ 特派員の設置(各行政区一人委嘱する)	・ 錦織地域振興会の活動を理解していただく一環として行う。	・ 錦織地域振興会
	ホームページ開設事業	・ 錦織地域振興会及び錦織公民館の活動内容等を掲載する。	・ 錦織地域振興会及び錦織公民館のPR	・ 錦織地域振興会 ・ 錦織公民館

4 実現に向けて

(1) 地域づくり計画の進め方

錦織地域づくり計画25に基づき事業を単年度ごと実施します。毎年度事業の実施状況を評価し、当初の事業目的が達成されているか、実施方法に問題はなかったかなどの解析を行い、次年度以降の事業展開に活かします。

また、計画期間満了時に計画そのものの総合的な評価を行い、新たな課題の抽出なども含め、次の地域づくり計画に反映させていきます。

(2) 協働と役割分担に対する基本的な考え方

地方分権や地方主権といった言葉が一般的になって、私たちが住む地域社会にも大きな変革をもたらしています。地域主権社会とは、地域のことは地域で決めて責任をもって実行するという社会であり、問題解決の先例はあっても、そのまま私たちの地域に当てはまるとは限りません。自ら解決の道筋を見出していかなければならない社会であり、そのため、これからは「地域でできることは、地域で行う」「地域だけでできないことは行

政や関係団体、他の地域と協働して行う」といった考えのもと、地域の自主的・主体的な取り組みが重要となってきます。しかし、私たちの地域では共働きや核家族化など、その基盤となる家庭や地域を取り巻く環境は大きく変化しています。

私たちの住む錦織地域は、北上川の大河や丸森遺跡など景観や文化遺産として地域に息づいており、現在まで受け継がれ親しまれています。これまでの先人たちが培ったものから知恵と努力を学び、錦織地域の住民や各種団体が、互いに協力し、自治意識の向上を図るとともに「誰もが住みやすく安心して安全な思いやりのある地域」めざしていきましょう。

5 参考資料

(1) 地域づくり計画策定経過

年月日	事業名・会議名等	内 容	場 所
25. 5. 24	錦織地域振興会第 1 回企画執行運営会議	・年間事業推進方針の協議 ・補助金活用の協議	錦織公民館研 修室 2
5. 29	錦織地域振興会第 1 回役員会	・年間事業推進方針の協議 ・補助金活用の協議	錦織公民館音 楽室
6. 25	錦織地域振興会第 2 回役員会	・部ごとの事業内容の確認	錦織公民館音 楽室
7. 15	錦織地域振興会第 2 回企画執行運営会議	・登米市地域づくり交付金交付決定	錦織公民館研 修室 2
8. 23	錦織地域振興会第 4 回企画運営会議並び に地域振興部会合同 会議	・地域づくり計画策定スケジュール ・策定委員の選考方法	錦織公民館研 修室 2
9. 9	第 1 回錦織地域づく り計画策定委員会	・委員の委嘱 ・策定スケジュール ・宮城大学鈴木先生のお話し	錦織公民館音 楽室
9. 27	第 2 回錦織地域づく り計画策定委員会	・アンケートの検討	錦織公民館音 楽室
12. 11	第 3 回錦織地域づく り計画策定委員会	・アンケート結果に基づく意見交換	錦織公民館音 楽室
12. 20	第 4 回錦織地域づく り計画策定委員会	・班ごと意見交換会	錦織公民館音 楽室ほか
26. 1. 30	第 5 回錦織地域づく り計画策定委員会	・班ごと意見交換会	錦織公民館音 楽室ほか
	第 6 回錦織地域づく り計画策定委員会	・計画書原案の検討	
	第 7 回錦織地域づく り計画策定委員会	・計画書作成完了	
	第 8 回錦織地域づく り計画策定委員会	・計画書作成報告懇談会	

(2) 錦織地域づくり計画策定委員会委員名簿

	役 職	氏 名	所 属	担当班	備 考
1	委員長	岩 渕 俊文	錦織 1 区	ふれあい班	
2	副委員長	及 川 純子	錦織 2 区	ふれあい班	
3	副委員長	春 日 盛男	錦織 5 区	うるおい班	
4	班 長	佐 藤 正彦	錦織 6 区	ふれあい班	
5	班 長	猪 股 敏彦	錦織 3 区	うるおい班	
6	班 長	山 田 清幸	錦織 1 区	やすらぎ班	
8	副班長	主 藤 孝志	振興会体育部長	ふれあい班	
9	副班長	及 川 健一	錦織 1 区	うるおい班	
10	副班長	及川みえ子	錦織 3 区	やすらぎ班	
11	委員	猪 股 保行	保育園父母の会	うるおい班	
12	委員	佐 藤 晃	保育園父母の会	ふれあい班	
13	委員	佐 藤 敬良	小学校 P T A	ふれあい班	
14	委員	鈴 木 和美	中学校 P T A	ふれあい班	
15	委員	及 川 稔	錦織 3 区	やすらぎ班	
16	委員	後 藤 秀俊	錦織 4 区	やすらぎ班	
17	委員	佐 藤まさ子	錦織 6 区	やすらぎ班	
18	委員	千 葉 正一	振興会文化部長	うるおい班	
19	委員	吉 野 英雄	振興会環境部長	うるおい班	